

きのこゆかいな仲間たち～特用林産物をめぐる新たな挑戦～

林野庁林政部経営課特用林産対策室

開催日: 令和4年10月11日(火)～10月14日(金)＜4日間＞開催

来場者: 438人

内容: 10月15日は、「きのこの日」です。きのこ、木炭、竹、漆等の特用林産物は食料、エネルギー、家具など様々な形で私たちの生活を豊かにしている身近な森林の恵みです。当展示では、特用林産物に関する理解の促進と普及による需要拡大のため、代表的な特用林産物を紹介するとともに、既存の利用法に留まらない、「新たな挑戦」についてもパネルや実物により分かりやすく解説しました。今回は、木炭に観葉植物を植える「炭花壇」のワークショップも開催しました。



主な特用林産物の種類や、主要特用林産物の国内生産量と輸入量等を紹介。



きのこの栽培方法(原木栽培、菌床栽培)や、しいたけの原産地表示等の表示についてパネルで紹介、また、乾しいたけの料理レシピ集等を配布



しいたけのパックや各地のきのこ加工食品等を展示。また、きのこ栽培キットで栽培されたしいたけ、なめこ、えのきたけ、きくらげの菌床きのこを展示。



代表的な産地の黒炭・白炭や、キャンプ等で使用する燃焼器具を展示。また、木炭に観葉植物を植えて飾る「炭花壇」のワークショップを開催。



竹の伝統的な利用法に加え、竹を原料にした洗剤やタオル等の新たな利用事例を紹介。また、炭化した竹を使用したエジソン電球を展示。



樹木の「ウルシ」から、塗料である「漆」が採取され、漆器になるまでの一連の流れをウルシ実物、漆の採取用器具や漆器等を用いて紹介。